

9月17日：大型株を中心に売られベトナム株は下落

ベトナム株は4日に続伸を維持できず、大型株を中心に利益確定圧力が高まったことが要因となった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.38%安の894.04ポイントで取引を終えた。直近4営業日で0.97%ほど上昇していたが一步後退となった。

VN30指数は0.32%安の831.34ポイントで取引を終えた。VN30先物指数も0.43%安の831ポイントで取引を終えた。

中小型指数はほとんど変わらずで取引を終えた。

大型株では、21銘柄が下落し、7銘柄のみが上昇した。

ビンコムリテール (VRE)、ビングループ (VIC)、マッサングループ (MSN)、ペトロリメックス (PLX)、ペトロベトナムパワー (POW) などが下落した。

一方、ホアファットグループ (HPG)、TTC製糖 (SBT)、SSI証券 (SSI) などが上昇した。

建設資材セクターは好調だったが、不動産、小売、エネルギー、ITなどが下落して取引を終えた。

ハノイ取引所ではHNX指数は0.47%高、128.47ポイントで取引を終えた。

同指数は水曜日に0.04%安となっていた。

出来高は4億5700万株で売買代金にして7.31兆ドンであった。

外国人投資家は売り越し、1387億ドンを売り越し、前日より31.6%ほど減少は↓。

国内株はアジアの市場のトレンドに沿った動きとなった。FRBからはさらなる景気刺激の方針が示されなかったことが問題となった。

VN指数は4営業日続伸していたが、流動性の高まりが売り圧力も高まっているということを示していたとサイゴンハノイ証券は語った。

しかし、VN30先物が現物よりも高値で取引されているという好材料もあると同社は述べた。

VN指数は900ポイントを抜けられない場合は、885ポイントまで下落することも考えられると同社は予想した。

外国人投資家が売り越しで、市場を下押ししていることに警戒が必要であると語った。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。